

大磯町第五次総合計画策定のためのアンケート調査報告書 概要版

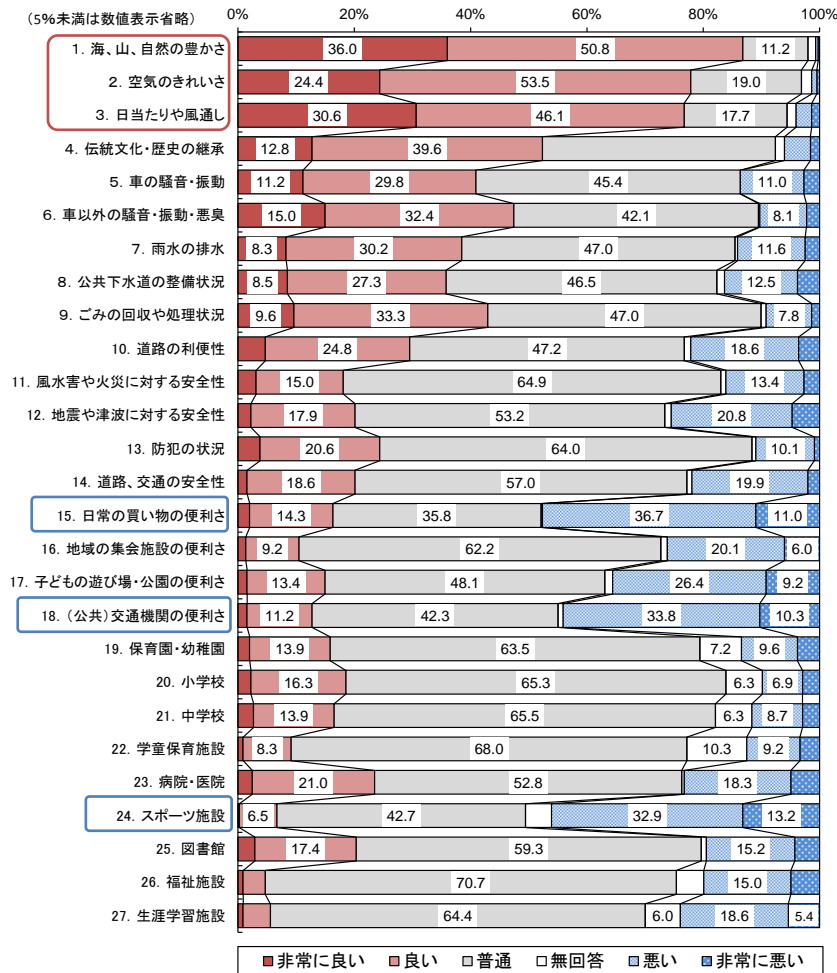
1 アンケート調査の実施概要

「第五次総合計画」の策定及び「まちづくり計画」の見直しにあたり、まちづくりに対する町民の意向などを把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的としてアンケート調査を実施しました。

	町民アンケート調査	転入者アンケート調査
調査対象	大磯町在住の18歳以上の男女1,500人	平成26年4月以降大磯町に転入した大磯町在住の18歳以上の男女500人
抽出方法	平成31年3月1日現在の住民基本台帳より無作為抽出	
調査時期	平成31年3月15日（金）～3月28日（木）	
調査方法	郵送配布・郵送回収	
回収数（率）	447件（29.8%）	191件（38.2%）

2 地域の環境についての現状認識

【町民アンケート】 ○地域の環境評価



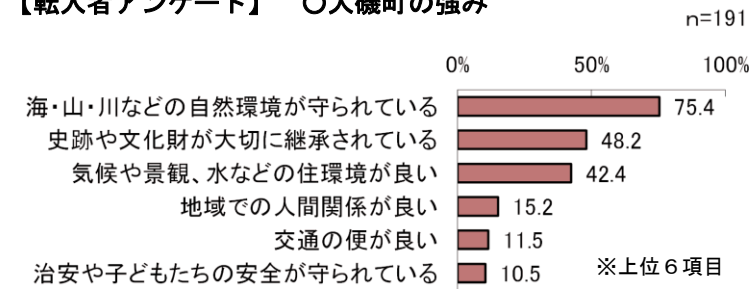
地域の環境について評価が高かった項目は、「1. 海、山、自然の豊かさ」、「2. 空気のきれいさ」、「3. 日当たりや風通し」などとなっています。一方、評価が低かったのは、「15. 日常の買い物の便利さ」、「24. スポーツ施設」、「18. (公共)交通機関の便利さ」などです。

評価が高い順
●1. 海、山、自然の豊かさ (1.24)
●3. 日当たりや風通し (1.04)
●2. 空気のきれいさ (1.02)
●4. 伝統文化・歴史の継承 (0.58)
●6. 車以外の騒音・振動・悪臭 (0.50)
●9. ごみの回収や処理状況 (0.42)
●5. 車の騒音・振動 (0.36)
●7. 雨水の排水 (0.30)
●8. 公共下水道の整備状況 (0.24)
●13. 防犯の状況 (0.16)
●10. 道路の利便性 (0.0860)
●20. 小学校 (0.0859)
●21. 中学校 (0.05)
●11. 風水害や火災に対する安全性 (0.02)
●19. 保育園・幼稚園 (0.01)
評価の低い順
●24. スポーツ施設 (-0.55)
●18. (公共)交通機関の便利さ (-0.4041)
●15. 日常の買い物の便利さ (-0.4036)
●17. 子どもの遊び場・公園の便利さ (-0.29)
●27. 生涯学習施設 (-0.24)
●16. 地域の集会所の便利さ (-0.21)
●26. 福祉施設 (-0.20)
●12. 地震や津波に対する安全性 (-0.08)
●22. 学童保育施設 (-0.06)
●14. 道路、交通の安全性 (-0.023)
●23. 病院・医院 (-0.022)
●25. 図書館 (-0.005)

※上記は「非常に良い」を+2点、「良い」を+1点、「普通」を0点、「悪い」を-1点、「非常に悪い」を-2点として評価点を算出した結果です。

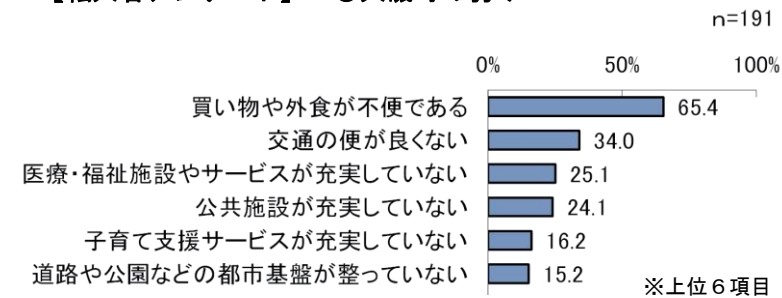
3 大磯町の強み・弱み

【転入者アンケート】 ○大磯町の強み



大磯町の“強み”として上位に挙げられたのは、「海・山・川などの自然環境が守られている」、「史跡や文化財が大切に継承されている」、「気候や景観、水などの住環境が良い」などです。

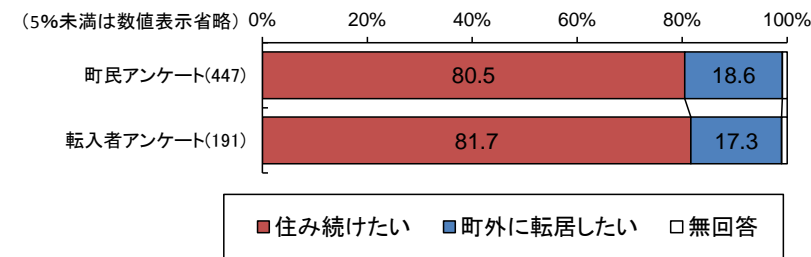
【転入者アンケート】 ○大磯町の弱み



一方、“弱み”として上位に挙げられたのは、「買い物や外食が不便である」、「交通の便が良くない」、「医療・福祉施設やサービスが充実していない」などです。

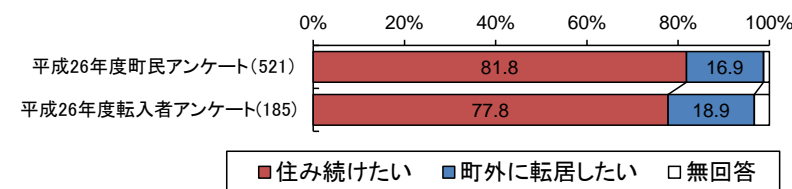
4 定住意向

【町民アンケート・転入者アンケート】 ○定住意向



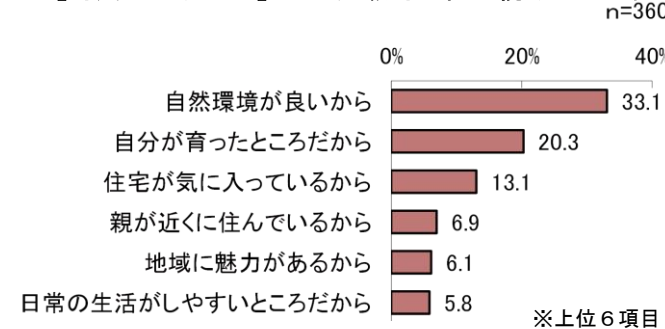
「住み続けたい」は町民アンケート・転入者アンケートともに8割を超えており、永住意識が高いことがうかがえます。

◎経年比較



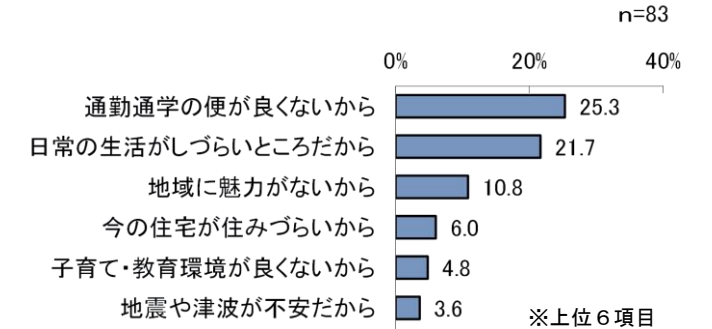
過去の調査結果と比較すると、一般町民ではほとんど変化がありませんが、転入者では「住み続けたい」がやや増加しています。

【町民アンケート】 ○大磯町に住み続けたい理由



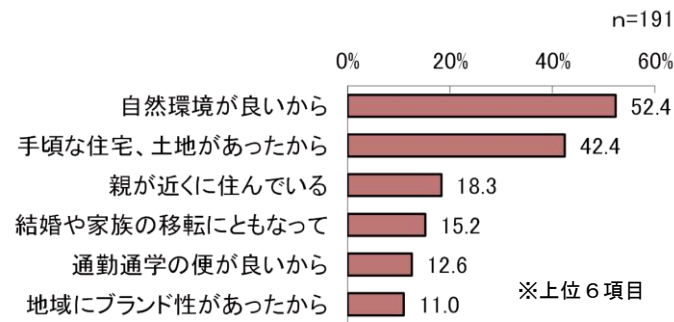
住み続けたい理由として上位に挙げられたのは、「自然環境が良いから」、「自分が育ったところだから」、「住宅が気に入っているから」などです。

【町民アンケート】 ○町外に転居したい理由



町外に転居したい理由として上位に挙げられたのは、「通勤通学の便が良くないから」、「日常生活がしづらいところだから」、「地域に魅力がないから」などです。

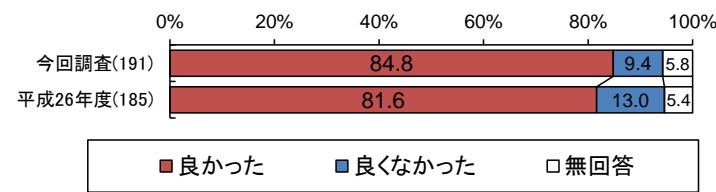
【転入者アンケート】 ○大磯町に住むことを決めた理由



・住むことを決めた理由として上位に挙げられたのは、「自然環境が良いから」、「手頃な住宅、土地があったから」、「親が近くに住んでいる」などです。

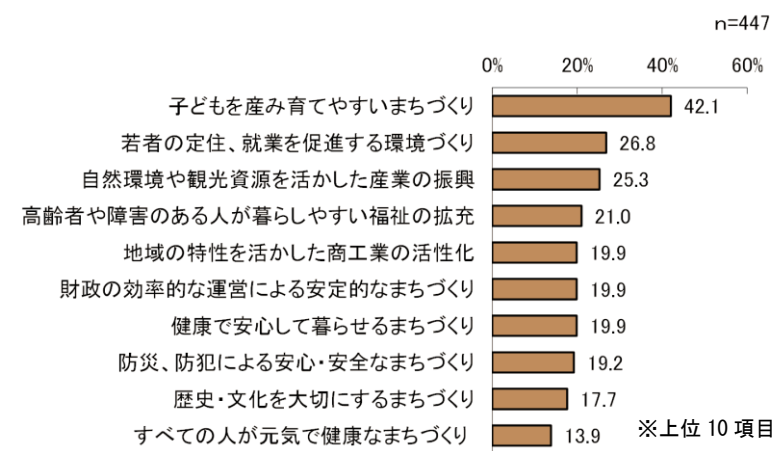
【転入者アンケート】 ○大磯町に住んで良かったか

◎経年比較



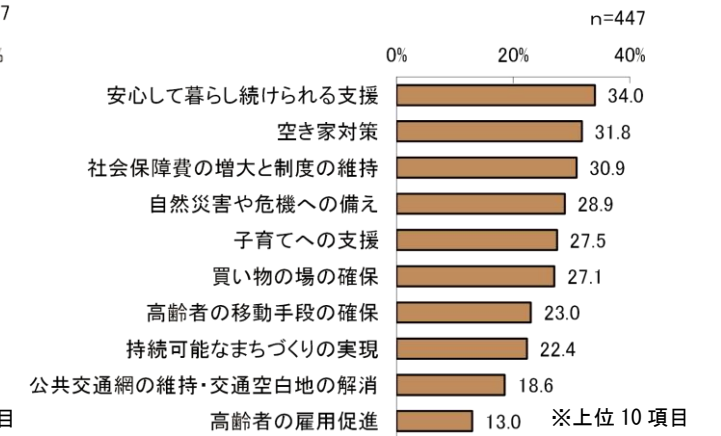
・大磯町に住んで良かったかどうかについて、過去の調査結果と比較すると「良かった」がやや増加しています。

【町民アンケート】 ○重点的に予算配分していくべき分野



・重点的に予算配分していくべき分野として上位に挙げられたのは、「子どもを産み育てやすいまちづくり」、「若者の定住、就業を促進する環境づくり」、「自然環境や観光資源を活かした産業の振興」などです。

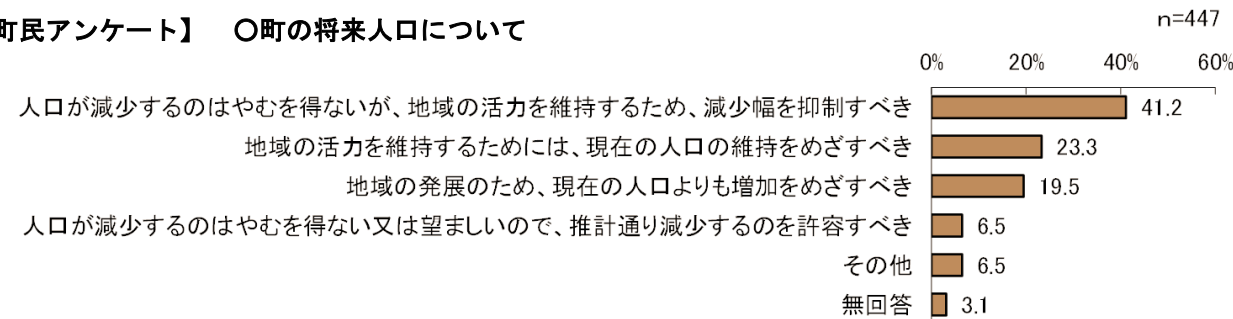
【町民アンケート】 ○今後課題となる、または既に課題となっていること



・今後課題となる、または既に課題となっていることとして上位に挙げられたのは、「安心して暮らし続けられる支援」、「空き家対策」、「社会保障費の増大と制度の維持」などです。

5 町の将来人口について

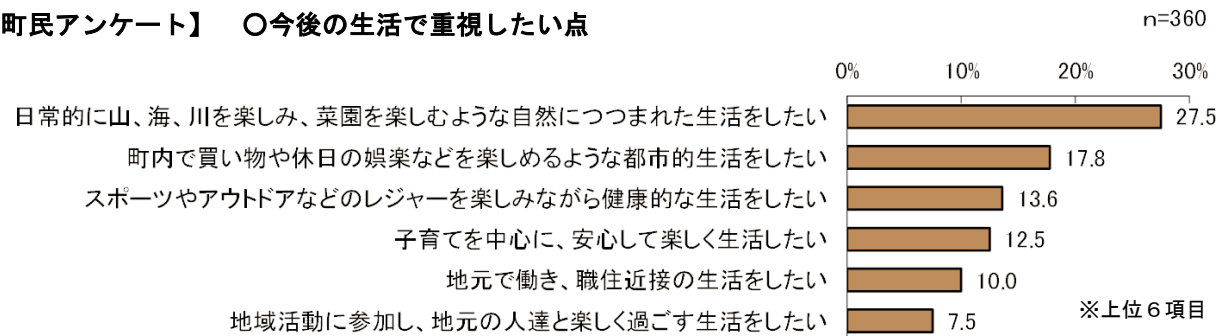
【町民アンケート】 ○町の将来人口について



・今後、どのような人口の動きが望ましいかについては、「人口が減少するのはやむを得ないが、地域の活力を維持するため、減少幅を抑制すべき」が最も上位に挙げられています。

6 将来のまちづくり、課題について

【町民アンケート】 ○今後の生活で重視したい点



・今後の生活で重視したい点として上位に挙げられたのは、「日常的に山、海、川を楽しみ、菜園を楽しむような自然にまつまれた生活をしたい」、「町内で買い物や休日の娯楽などを楽しめるような都市的生活をしたい」、「スポーツやアウトドアなどのレジャーを楽しみながら健康的な生活をしたい」などです。

【町民アンケート・転入者アンケート】 ○今後5年間で重点的に取り組むべき施策

順位	町民アンケート結果 (n=447)		順位	転入者アンケート結果 (n=191)	
	施策分野	比率		施策分野	比率
1	安全なまちづくりの推進（危機管理／消防・救急・救助／生活安全）	69.1	1	次代を担う人づくりの形成（保育・幼児教育／学校教育／青少年）	68.1
2	子どもを育てやすい環境づくりの推進（子ども・子育て支援）	67.1	2	子どもを育てやすい環境づくりの推進（子ども・子育て支援）	66.5
3	次代を担う人づくりの形成（保育・幼児教育／学校教育／青少年）	63.1	3	安全なまちづくりの推進（危機管理／消防・救急・救助／生活安全）	59.7
4	効率的な行財政の運営（行財政運営）	53.0	4	良好な地域環境の形成（環境保全／河川・生活排水）	56.0
5	良好な地域環境の形成（環境保全／河川・生活排水）	50.3	5	快適に移動できる交通基盤の推進（道路・交通）	53.4
6	活力と個性あふれる産業の振興（農業／漁業／商工業・勤労者福祉）	49.7	6	開かれた町政と情報化の推進（広報・広聴と情報化）	52.9
7	身近な自然環境空間の形成（自然環境／公園／海岸）	48.3	6	効率的な行財政の運営（行財政運営）	52.9
8	快適に移動できる交通基盤の推進（道路・交通）	45.6	8	身近な自然環境空間の形成（自然環境／公園／海岸）	52.4
9	高齢者の生きがいづくりの推進（生きがいづくりと社会参加）	42.5	10	魅力ある空間の形成（土地利用／住宅・住環境／景観形成）	50.3
10	循環型地域社会の形成（廃棄物処理）	42.3	10	活力と個性あふれる産業の振興（農業／漁業／商工業・勤労者福祉）	50.3

・今後重点的に取り組む施策について、一般町民では「安全なまちづくりの推進」や「効率的な行財政の運営」が上位に挙げられています。一方、転入者では、「次代を担う人づくりの形成」や「良好な地域環境の形成」、「快適に移動できる交通基盤の推進」などが上位に挙げられています。